

BANK OF IKEDA

平成20年度
中間期の業績について

ごあいさつ

いつも池田銀行をご利用いただきましてありがとうございます。
平成20年9月期の業績についてお知らせします。
ポイントは以下のとおりです。

- ①預金は、個人預金を中心に年間354億円(年率1.6%)増加しました。
また、貸出金も事業性貸出を中心に、年間962億円(年率6.3%)増加しました。
預かり資産残高は、個人年金保険等を中心に増加し、3,488億円となりました。
- ②コア業務純益は、諸施策の取組みの結果、予想比+8億円の73億円となりました。
しかしながら、サブプライムローン問題の深刻化に伴う米国発の金融危機に
端を発した金融市場の混乱により、保有有価証券の評価が下落した為、従来から
採用している最も厳格な30%減損ルールに則り、53億円の保有有価証券の減損
処理を行いました。
その結果、誠に遺憾ながら15億円の中間純損失を計上することとなりました。
- ③減損処理後も健全性の指標である自己資本比率は、9.3%と国内基準を
十分上回っております。
また、不良債権比率は、2.5%に低下し、資産の健全化が進んでおります。

また、本年10月、第9回目の「ビジネスマッチングフェア」を開催し、
「ニュービジネス助成金」の授賞式を行いました。
平成15年の第1回募集以来、応募累計は878件、表彰企業は92社、助成金の総額は
6,000万円を超える規模となりました。
「関西のビジネスを、強く、新しく」を合言葉に、より一層“地域起こし”の応援を
してまいります。



これからも、
創業のころ“親切で新しい”を大切に、
地域の皆さまのお役に立ちますよう
努めてまいります。
引き続きご愛顧を賜りますよう
お願い申し上げます。

平成20年11月

頭取 服部 盛隆



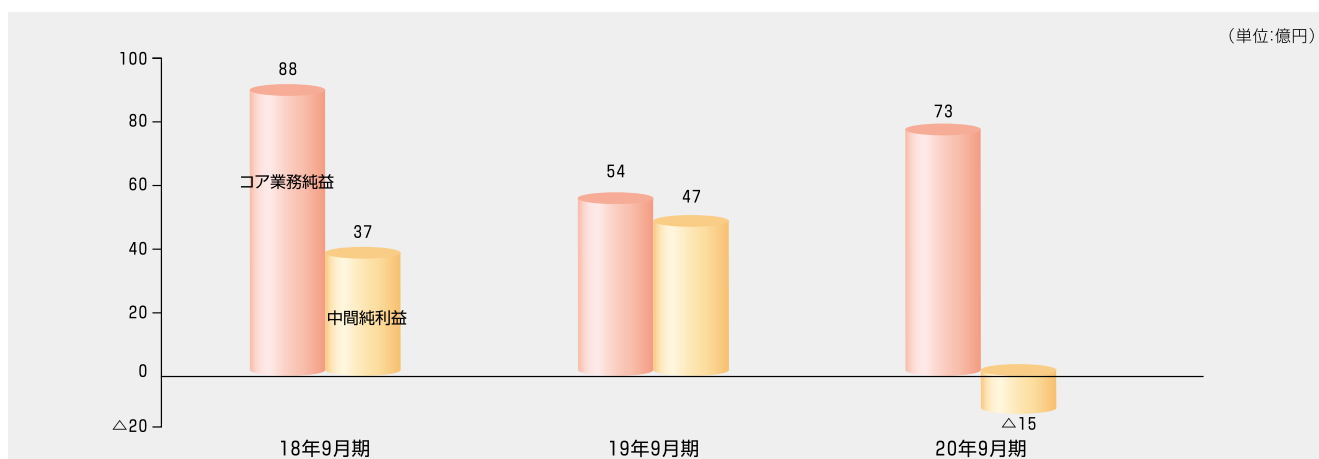
池田銀行

平成20年度 中間期の業績について

- コア業務純益は73億円、中間純損失は15億円となりました。
- 健全性の指標である自己資本比率は、9.3%と国内基準を十分上回っております。
- 預金は、個人預金を中心に年間354億円増加しました。
- 預かり資産残高は、個人年金保険等を中心に増加し、3,488億円となりました。
- 貸出金は、事業性貸出を中心に順調に推移し、年間962億円増加しました。
- 不良債権比率は、2.5%に低下し、資産の健全化が進んでおります。
- 有価証券の含み損は、159億円となりました。

◆ コア業務純益・中間純損失 (平成20年9月期)

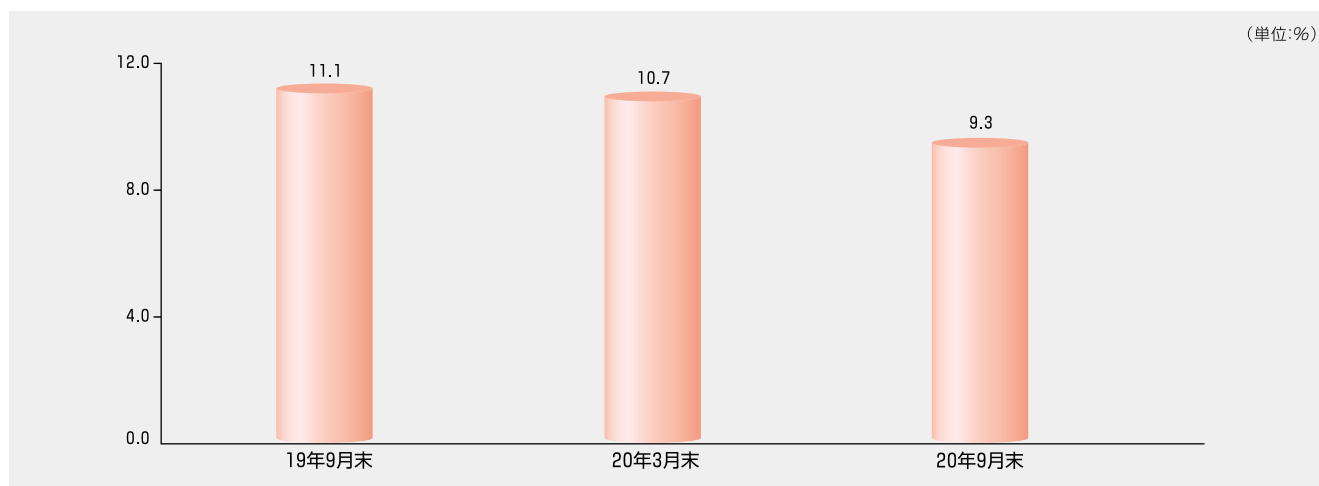
コア業務純益は、諸施策の取組みの結果、予想比+8億円の73億円となりました。しかしながら、サブプライムローン問題の深刻化に伴う米国発の金融危機に端を発した金融市場の混乱により、保有有価証券の評価が下落した為、従来から採用している最も厳格な30%減損ルールに則り、53億円の保有有価証券の減損処理を行いました。その結果、誠に遺憾ながら15億円の中間純損失を計上することとなりました。



〈コア業務純益〉 預金や貸出金・債券運用、為替業務など、銀行の本来の業務の成果をあらわす利益(業務純益)から、債券売買損益等を除いた利益です。

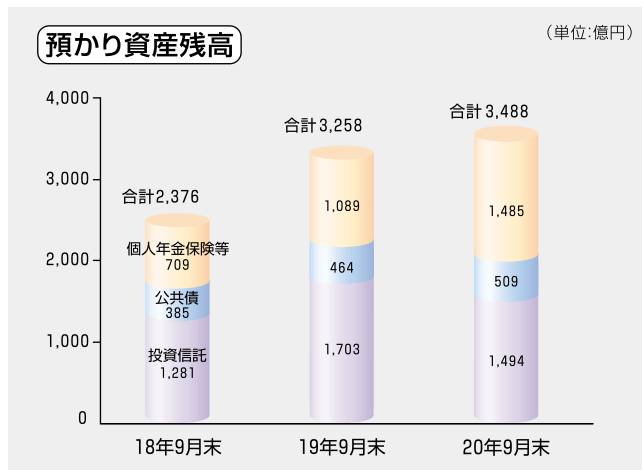
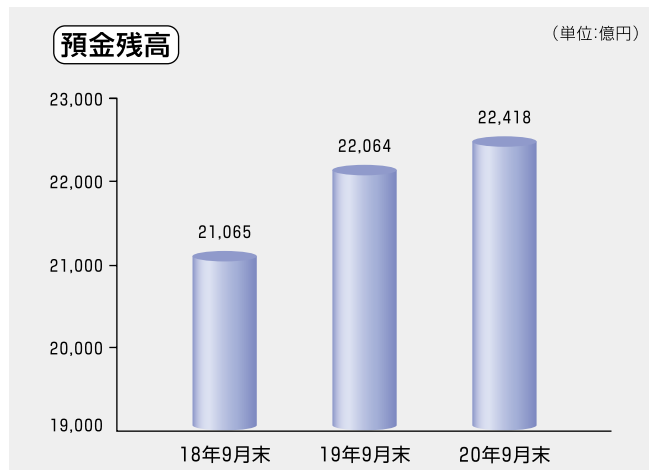
◆ 自己資本比率〈国内基準・単体〉

保有有価証券の減損処理後も、自己資本比率は9.3%と国内基準を十分上回っております。



◆預金・預かり資産の動向

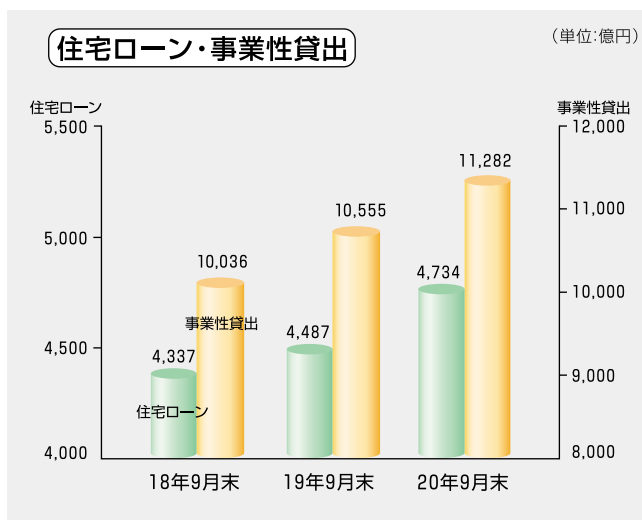
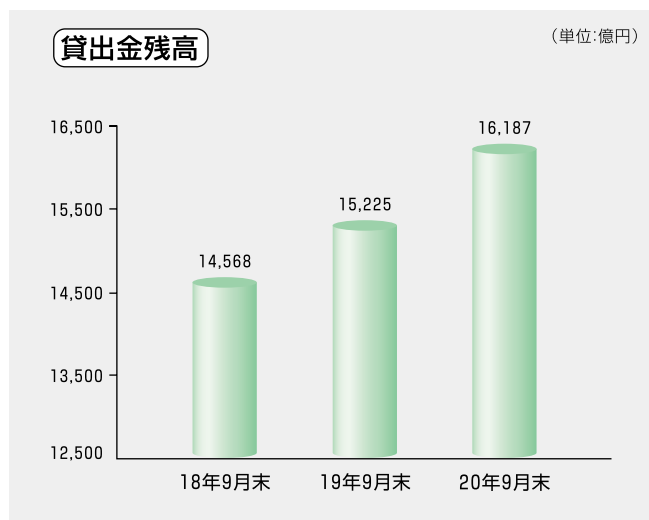
預金は、個人預金を中心に年間354億円増加。預かり資産は、年間230億円増加しました。



※個人年金保険等は、販売累計額を計上しております。

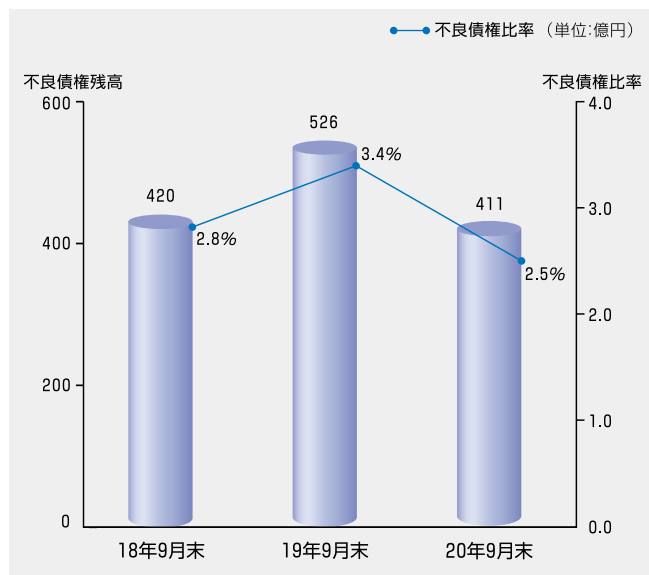
◆貸出金の動向

貸出金は、事業性貸出を中心に好調に推移し、年間962億円増加しました。



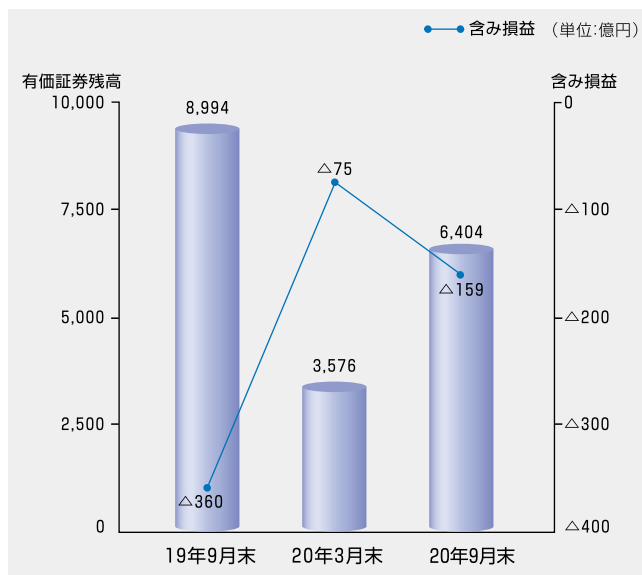
◆不良債権の状況

不良債権比率は、2.5%に低下しました。



◆有価証券の状況

有価証券の含み損は、159億円となりました。



第5回池田銀行チャリティフェスタ開催

平成20年10月4日に「兵庫県立芸術文化センター」で、「クラシカル スペシャル with 谷村新司」コンサートを開催しました。今回も、自然環境保護や緑化事業にお役立ていただけるよう、開催地西宮市に100万円を贈呈いたしました。また、当日会場にてお客さまからの募金活動を行うとともに、場内で販売されたCDの売上収益金の一部からご協力いただき、合わせて寄付させていただきました。今後も、この「チャリティフェスタ」などの開催をはじめ、「地域貢献」や「社会貢献」活動に積極的に取り組んでまいります。



第9回ビジネスマッチングフェア開催！ ニュービジネス助成金“地域起こし大賞”なども発表!!

平成20年10月16日・17日の両日、「マイドームおおさか」において、「第9回池田銀行 TOYROビジネスマッチングフェア2008」を開催しました。今回のメインテーマは、「日本のちから、関西の技術」。これを象徴するものとして、独立行政法人産業技術総合研究所関西センターのご協力による「産総研 関西発3大発明」も特別展示されました。また、「平成20年度池銀」ニュービジネス助成金の発表・授賞式も行いました。今回応募の156プランのなかから“地域起こし大賞”1件、“優秀賞”3件、“奨励賞”8件を選出し、それぞれ助成金を贈呈させていただきました。

これからも、新たなビジネスの創造や地域経済活性化のお役に立てますよう努めてまいります。

蘇州駐在員事務所開設2周年記念 「記念講演会」開催

日本の地方銀行としては初めてとなる「蘇州駐在員事務所」を開設してから、2周年を迎えました。これを記念し、現地蘇州において平成20年9月8日に「記念講演会」を開催しました。地元蘇州市人民政府関係者や、上海から駆けつけていただいた方も含め、現地日系企業の皆さまなど130名ものご参加をいただきました。当行頭取、服部盛隆も出席いたしました。講演会後の交流会では、異業種交流の場をご提供いたしました。これからも、地元政府や進出企業の方々とのネットワークを充実させ、中国ビジネスの「チャイナゲート」として、より一層お役に立ててまいります。



警察と協力して 「振り込め詐欺」撲滅キャンペーン

振り込め詐欺は、オレオレ詐欺だけでなく、架空請求詐欺や還付金詐欺など、その手口は巧妙化、悪質化しており被害が急増しています。

このような卑劣な金融犯罪を防止するために、この10月に、全国一斉に「振り込め詐欺撲滅キャンペーン」が実施されました。

当行も、ATMコーナーなどで、警察の方と協力してお客様に注意を呼びかけました。

幸いにも当行では、苦楽園支店・六甲支店・名塩支店が、積極的な助言と適切な対応で、相次いで未然に被害を防ぎました。「振り込め詐欺」を未然に防ぐために、「振り込む前に落ちていて、本当の出来事かどうか、いま一度ご確認を！」